



平成30年7月豪雨災害の支援に 学生の力を

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター



平成30年7月豪雨災害の被害と ボランティア活動の状況

毎年、全国各地で、大小さまざまな規模の災害が発生しています

平成25年

4月13日 淡路島震源地地震(兵庫県)
浜松市 地すべり(静岡県)
融雪等に伴う地すべり(山形県)
7月18日までの大雨(山形県、静岡県)
7月22日の大雨(山形県、福島県)
7月26日の大雨(岩手県)
7月28日の大雨(山口県、島根県)
7月30日の大雨(新潟県)
8月9日の大雨(岩手県、秋田県)
8月23日から大雨(島根県)

9月2日の竜巻(埼玉県、千葉県)
9月4日の竜巻(栃木県)
9月4日の大雨(愛知県)
台風18号(京都府、福井県、滋賀県、三重県、青森県、岩手県)
9月16日の突風(埼玉県)
台風24号(鹿児島県)
台風26号(千葉県、東京都)
2月14日から15日の大雪災害(山梨県、群馬県、長野県、埼玉県、東京都、静岡県)

平成26年

台風8号
7月9日の大雨(山形県南陽市)
7月9日土砂災害(長野県南木曽町)
台風12号
8月2日から大雨(徳島県阿南市・海陽町、高知県日高村、山口県岩国市・和木町)
台風11号
8月9日から大雨(徳島県那賀町、高知県四万十町)
8月10日の突風(栃木県)

8月15日から大雨(岐阜県高山市、京都府 福知山市、兵庫県丹波市)
8月19日土砂災害(広島市安佐南区、安佐北区)
9月27日 御嶽山噴火
台風18号
10月6日の大雨(静岡県清水区)
11月22日 長野県神城断層地震
12月5日 徳島県西部大雪

平成27年

5月29日 口之永良部島噴火(鹿児島県)
9月1日の大雨(長崎県対馬市)
9月9日 関東・東北豪雨(台風18号)(栃木県、茨城県、宮城県)
9月28日 台風21号(沖縄県)



平成28年

4月14日 熊本地震(熊本県熊本市・益城町他)
6月20日の大雨(熊本県益城町・宇土市他)
8月 台風7号(北海道足寄町)
台風11号(北海道)
台風9号(埼玉県狭山市他、茨城県ひたちなか市、北海道旭川市他)
台風10号(北海道南富良野町他、岩手県岩泉町他)
9月 台風16号(鹿児島県垂水市、大分県佐伯市)
10月21日 鳥取県中部地震(鳥取県倉吉市他)
12月22日 糸魚川市大規模火災

平成29年

7月5日 九州北部豪雨(福岡県朝倉市・東峰村、大分県日田市他)
7月22日 秋田県豪雨(大仙市他)
9月17日 台風18号(大分県津久見市・佐伯市他)
10月22日 台風21号(三重県伊勢市、和歌山県新宮市、京都府舞鶴市、埼玉県川越市他)

平成30年

2月4日から大雪
4月9日 島根県西部地震(大田市)
6月18日 大阪北部地震
7月 平成30年7月豪雨

平成30年7月豪雨による被害状況等

【豪雨災害をもたらした気象の概要(気象庁情報)】

- ・6月28日以降北日本に停滞していた前線が、7月4日にかけ北海道付近に北上した後、7月5日には西日本まで南下してその後停滞した。
- ・6月29日に発生した台風第7号は、東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わった。
- ・前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。
- ・6月28日から7月8日にかけての総雨量は、四国地方で1800ミリ、東海地方で1200ミリを超えるなど、7月の月降水量平年値の2から4倍となったところもあった。
- ・48時間雨量、72時間雨量などが、中国地方、近畿地方などの多くの地点で観測史上 1位となった。

◎大雨等の状況(6月28日00時～7月8日24:00)◎

・主な24時間降水量(アメダス観測値)

高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬	691.5ミリ	7月6日16時50分まで
高知県	長岡郡本山町	本山	602.0ミリ	7月7日10時50分まで
高知県	香美市	繁藤	484.0ミリ	7月6日10時30分まで
岐阜県	郡上市	ひるがの	472.0ミリ	7月7日11時20分まで
佐賀県	佐賀市	北山	464.5ミリ	7月6日16時10分まで

・主な期間降水量(アメダス観測値)

高知県	安芸郡馬路村	魚梁瀬	1852.5ミリ
高知県	長岡郡本山町	本山	1694.0ミリ
高知県	香美市	繁藤	1389.5ミリ
徳島県	那賀郡那賀町	木頭	1365.5ミリ
高知県	香美市	大柝	1364.5ミリ

人的被害、建物被害(消防庁情報:平成30年8月2日 14:45現在)



都道府県名	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷	程度不明							
	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
北海道								1	7	121		3
秋田県								1				
福島県								9				
富山県										3		
石川県										9		
福井県								3		15		
長野県								1	1	18		
岐阜県	1		2	1		12	203	107	205	783		1
静岡県										4		
愛知県										3		
滋賀県	1									1		
京都府	5		1	6	1	13	12	60	517	2,141		
大阪府			2			1		9	7	25		8
兵庫県	2		2	9		3	7	19	90	807		
奈良県	1							1	1	19		
和歌山県				1		1	2	1	155	353		11
鳥取県								3	7	54		
島根県						64	151	2	8	63		2
岡山県	61	3	8	153		3,983	1,022	351	5,210	6,058	1	21
広島県	108	6	34	90		634	1,770	1,446	2,868	4,629		
山口県	3		1	8		13	9	41	548	553		
徳島県								4	5	14		
香川県				3				10	1	9		2
愛媛県	26		3	6	2	317	1,159	311	3,271	2,251		
高知県	3			1		14	58	25	121	368		
福岡県	4		8	12		14	190	143	922	2,201	3	10
佐賀県	2		1	4		1	2	15	32	243		3
長崎県				10		1		4	4	18	1	
熊本県			1				3	4	3	71	2	4
大分県			1	3		2	1	3		12		1
宮崎県	1		1									
鹿児島県	2			1		1		5		3		1
沖縄県				5								
合計	220	9	65	313	3	5,074	4,589	2,579	13,983	20,849	8	67

平成30年7月豪雨の発生 災害VCの状況20180804現在

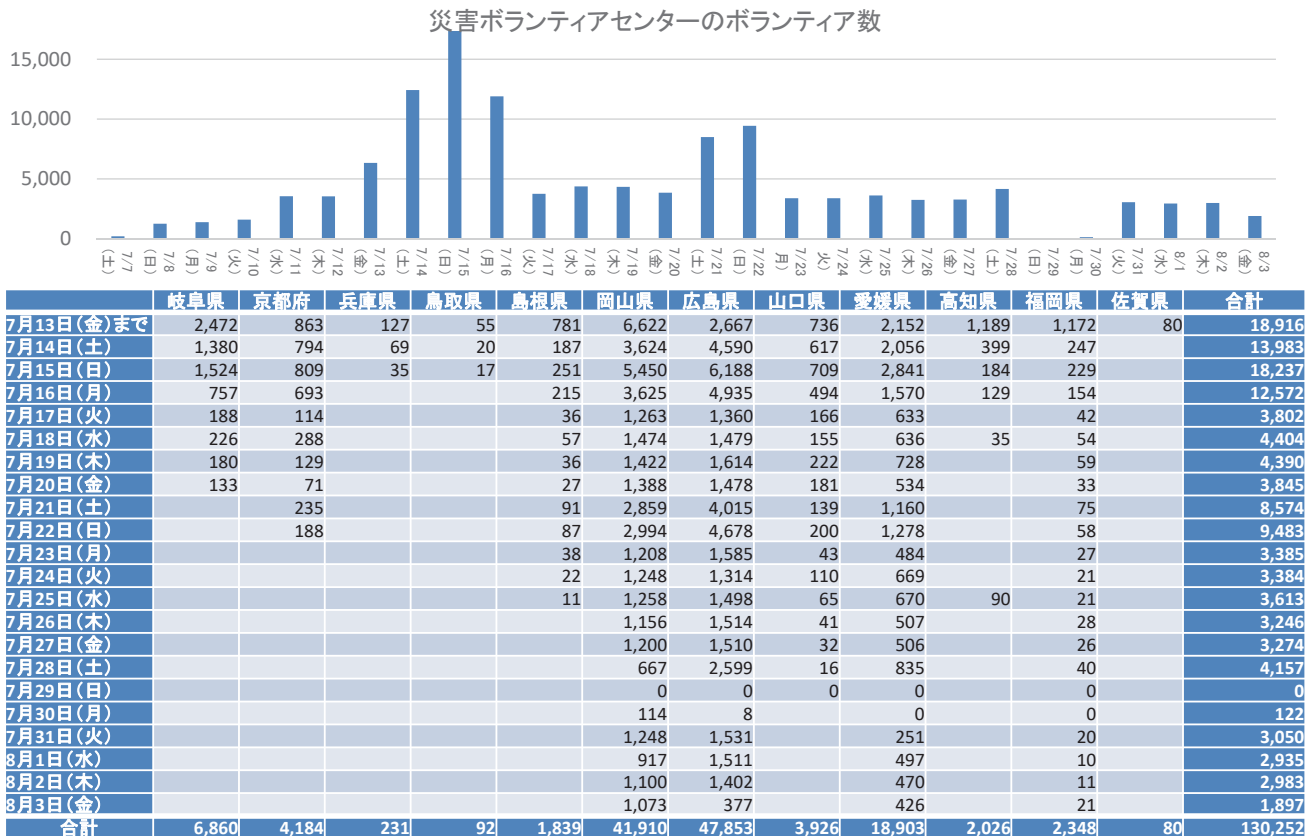


災害VC稼動中			災害VC終了			社協VCとして支援			社協VCとしての支援終了		
26			34			8			4		
岡山県	倉敷市	災害VC	山口県	三次市	災害VC	兵庫県	丹波市	災害VC			
	総社市	災害VC		大竹市	(社協VCで支援)		宍粟市	(社協VCで支援)			
	高梁市	災害VC		神石高原町	災害VC		養父市	(社協VCで支援)			
	岡山市(北区、東区)災害VC	周南市		災害VC	神戸市		(社協VCで支援)				
	矢掛町	災害VC		光市	災害VC		鳥取県	智頭町	災害VC		
	新見市	災害VC		岩国市	災害VC		島根県	江津市	災害VC		
	浅口市	災害VC	愛媛県	宇和島市	災害VC	高知県	川本町	災害VC			
	井原市	災害VC		大洲市	災害VC		美郷町	災害VC			
	笠岡市	災害VC		西予市	災害VC		大月町	災害VCから、社協VCで支援			
	真庭市(社協VCで支援)	今治市		災害VC	安芸市			災害VC			
	玉野市(社協VCで支援)	松野町		災害VC	宿毛市	災害VC					
	広島県	広島市(東区、南区、安佐北区、安芸区)災害VC		鬼北町	災害VC	福岡県		北九州市(社協VCで支援)			
		呉市		災害VC	上島町		災害VC	久留米市	災害VC		
		坂町		災害VC	松山市		(社協VCで支援)	嘉麻市	災害VC		
三原市		災害VC	八幡浜市(社協VCで支援)	飯塚市	災害VC						
東広島市		災害VC	砥部町(社協VCで支援)	福岡市(西区西稜校区)災害VC							
竹原市		災害VC	愛南町(社協VCで支援)	佐賀県	基山町		災害VC				
江田島市		災害VC	岐阜県	関市	災害VC	大分県	国東市	(社協VCで支援)			
海田町		災害VC		下呂市	災害VC						
福山市		災害VC		宮津市	災害VC						
世羅町		災害VC		綾部市	災害VC						
熊野町		災害VC	京都府	与謝野町	災害VC						
尾道市		災害VC		福知山市	災害VC						
府中市		災害VC		亀岡市	災害VC						
安芸高田市		災害VC		舞鶴市	災害VC						
府中町		災害VC		京丹波町	災害VC						
大崎上島町		災害VC									
庄原市		災害VC									

6

平成30年7月豪雨の発生

災害ボランティアセンターのボランティア数（8月3日までに13万人超参加）



災害ボランティアセンターの起源と歴史



1995年阪神・淡路大震災「ボランティア元年」

137万7300人(兵庫県推計)というボランティアが活動

以降、駆けつけるボランティアを被災者の元に届ける「ボランティアセンター」という機能が模索される

2004年中越地震、10の台風が上陸(同時多発)

被災地域の自治体ごとに社会福祉協議会(社協)が中心となって災害ボランティアセンターが設置されることが一般化

2011年東日本大震災

社協がその運営主体として、全国196箇所では災害ボランティアセンターが設置

日本の被災地では、災害ボランティア活動を支援する「災害ボランティアセンター」が設置されて、被災者を支援することが定着

東日本大震災以降、現在…

災害ボランティアセンターの定着化が進む

(地域防災計画への位置づけ、行政との協定、災害対策本部との連動、自治体の要請による設置等。

「ボランティア」も、災害対策基本法や防災基本計画に登場)

近年の甚大な被災地における災害VCを通じた活動者数

平成29年	平成28年		平成27年	平成26年
九州北部豪雨	熊本地震		台風10号	関東・東北豪雨
朝倉市	熊本市	益城町	岩泉町	常総市
45,000人	38,000人	36,000人	17,000人	40,000人
				広島市 (安佐南区・安佐北区合計)
				46,000人

ボランティア活動が被災地の復旧復興に多大なるマンパワーを提供することが積み重ねられ、被災者のみならず、行政(公助)も、ボランティアや民間支援の力に期待することが増大してきている

◆災害の数だけ支援の方法がある

- 災害の種類(地震、台風、豪雨、土砂災害、雪害、竜巻、津波、高潮、噴火、断水、重油事故、原発事故・・・)
- 被災範囲(単発か多地域同時か)
- 被災地域の特性(大都市・地方都市・農林漁村、人口密集地・過疎地・高齢化地域、平坦地・山間地・海辺・川沿い等)
- 季節(春夏秋冬)
- 支援必要期間(短期間・中期間・長期間)

等

◆大規模災害だけが災害ではない

「被災者」にとって、災害の規模は関係ない

9

様々な災害ボランティア活動がある

- 被災家屋、私有地内の片付け、清掃作業、ゴミ出し
- 泥だし作業、ガレキ撤去、雪かき作業
- 救援物資、生活物資等の仕分け作業、訪問配布
- 避難所での手伝い(炊き出し、洗濯等)
- 生活再建に必要な情報の提供支援(チラシ、ニュースレター、ミニコミ誌、FM 放送など)
- 津波被災地での写真洗浄作業
- 避難所における話し相手、足湯、子どもの遊び相手、託児代行
- 被災された方の交流機会づくり、お茶会等イベント開催
- 暮らしの再建のための専門家の相談会、勉強会
- 仮設住宅への引越手伝い
- 復興期における地域おこしの手伝い …等

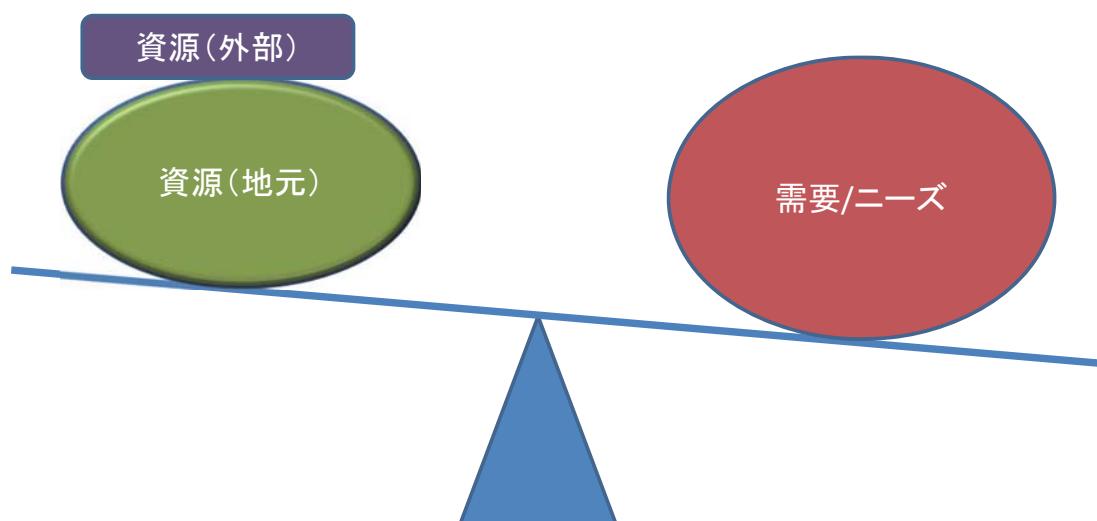
なぜ、外部支援が必要なのか

11

なぜ、外部支援か

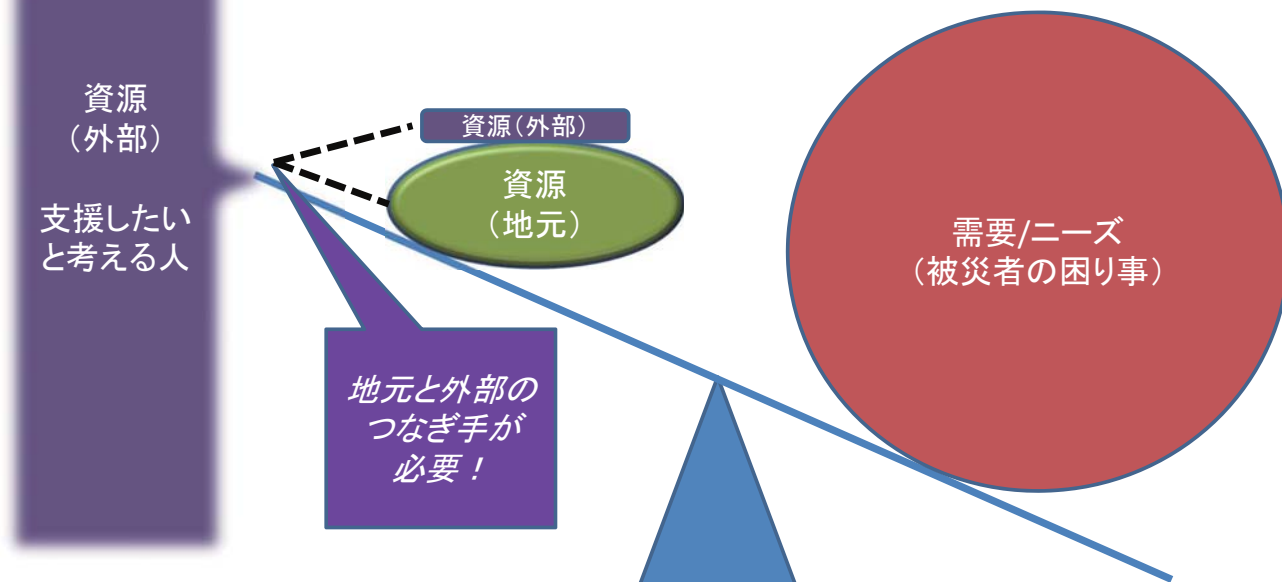


災害発生前の“地域”



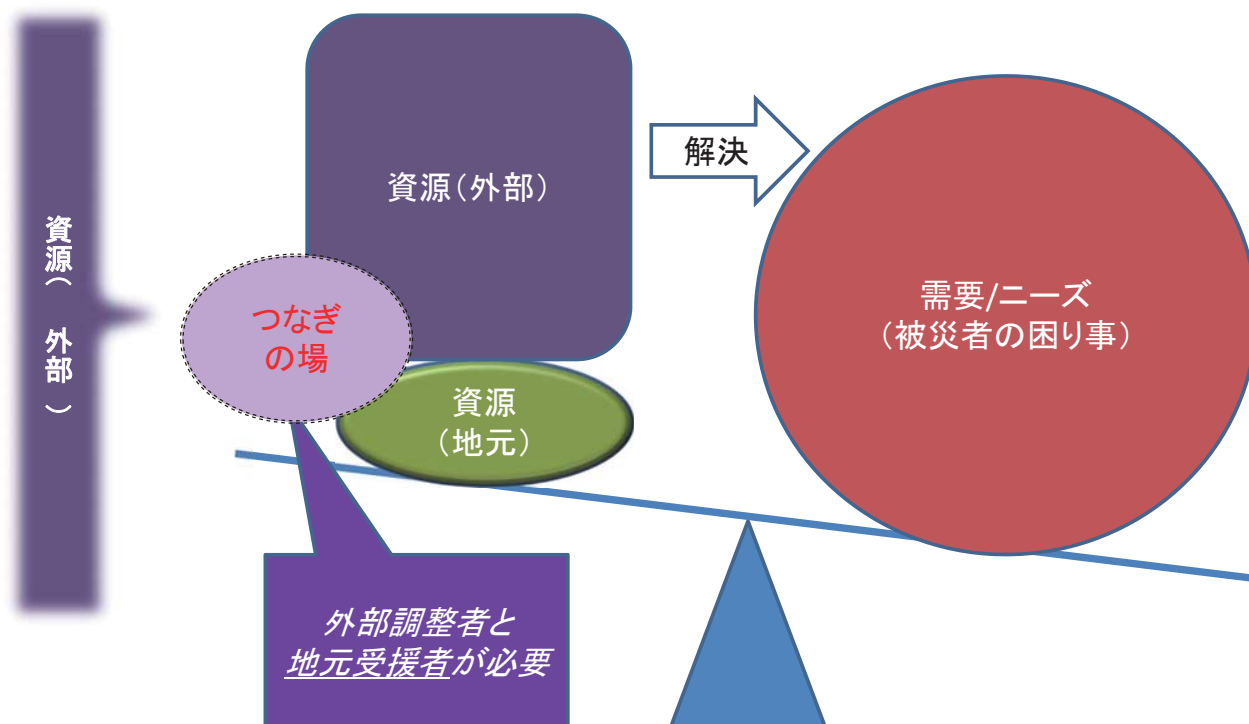
大規模災害発生直後

- ・被災による需要の爆発的拡大
- ・被災による地元資源の縮小
- ・地元とつながっていない大量の外部資源

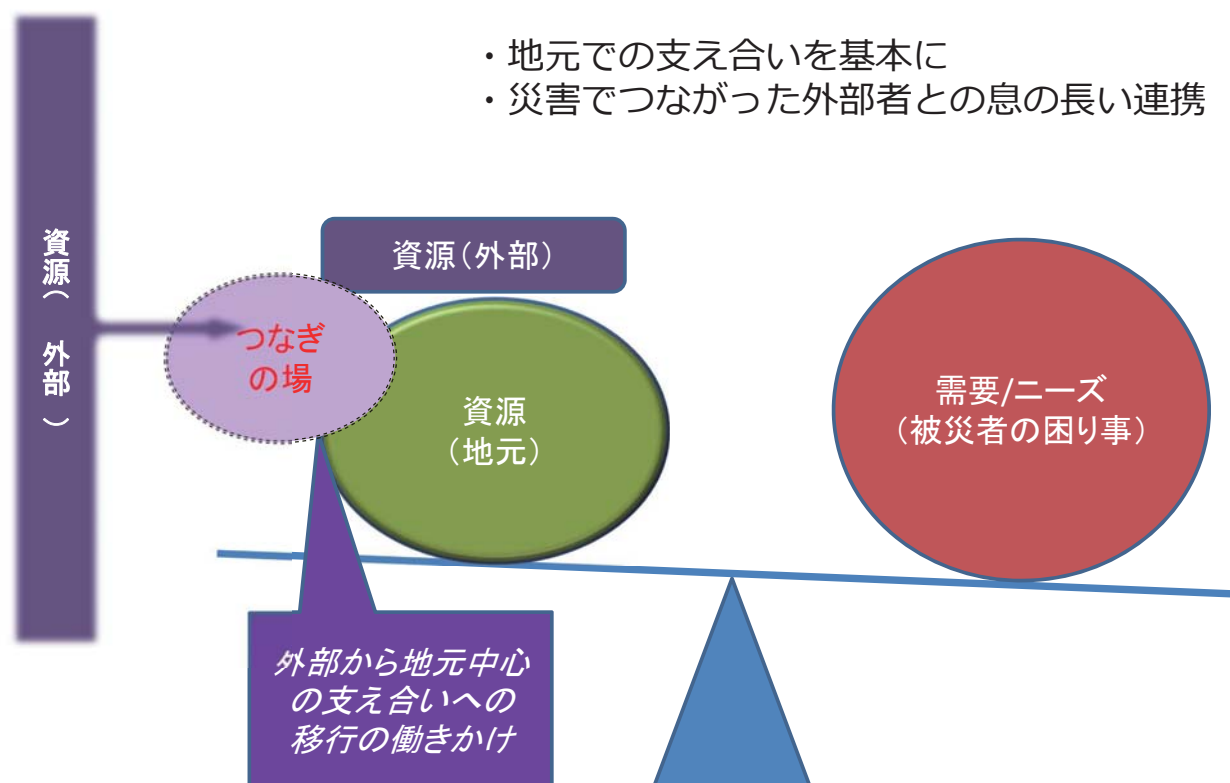


災害支援期～復旧期

- ・外部の力を借りて需要を減らしていく



生活支援・復興期



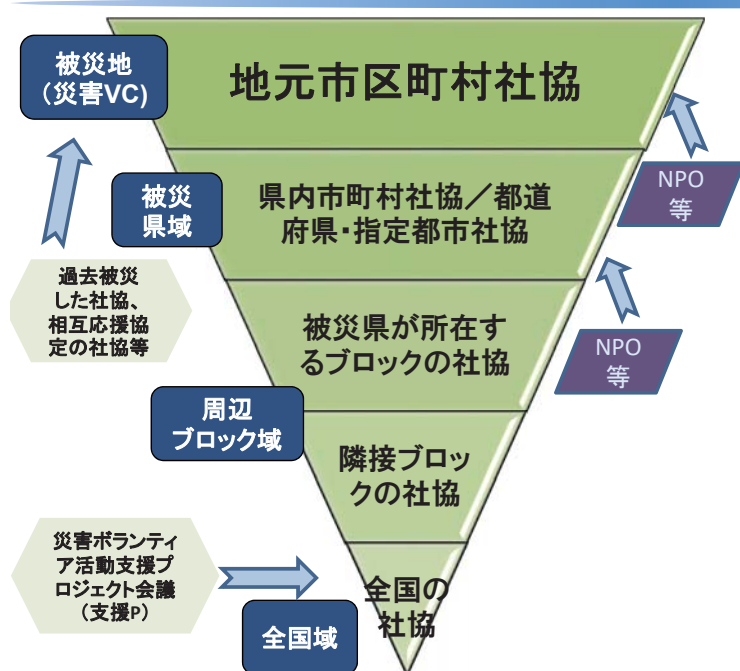
災害ボランティア活動の意義

- 地元だけでは充足できないマンパワーを復旧・復興に提供する
- 行政や制度では行き届かない、きめ細やかで被災者に寄り添った支援を実現する
- ボランティアの自発性に基づいた積極的で多種多様な支援をする

社協を中心とした 災害ボランティアセンターの運営

17

社協ネットワークにおける災害VC支援体制



社協が災害VCを運営する理由

●地域を基礎に活動を展開

- ・日常的に住民と接している（地縁組織と顔の見える関係がある）
- ・センター閉所後は、社協の本来的機能として、被災者の生活支援、被災地の復興支援にあたる（生活支援相談員による支援など）

●地域福祉を推進する団体としての機能・事業

- ・ほとんどの社協は平常時から「ボランティアセンター」という機能を有する
- ・福祉の相談機関・福祉サービス事業者として要援護者を把握している
- ・もともと使命として、地域の生活課題を把握し、解決する機能を有している
- ・行政や幅広い機関・団体とも関係を構築している
- ・民間としての機動力がある

●全国的なネットワークを有する組織

- ・すべての自治体に存在する
- ・全国的なネットワークを有している 等

・ブロック協定：7ブロックで締結 北海道・東北、関東・東海・北陸、近畿、中国、四国、九州

・都道府県域の災害ボランティアセンター支援ネットワーク 38箇所

・都道府県域の他機関協働の災害支援ネットワーク(※) 16箇所

(※) 災害ボランティアセンター支援、福祉広域支援ネットワークを除くもの

「平成28年度都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議 事前アンケート結果」より 18

社協による職員派遣 全国から応援職員を派遣



- 従来より、災害時には必要に応じて、県社協や県内の社協が被災地の社協(災害VC)に職員を派遣し支援を実施
- 東日本大震災においては、はじめて全国規模で、ブロックを単位に継続的に社協職員を派遣し、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援を行った。
- 平成30年7月豪雨では、全国規模でのブロック派遣を実施。

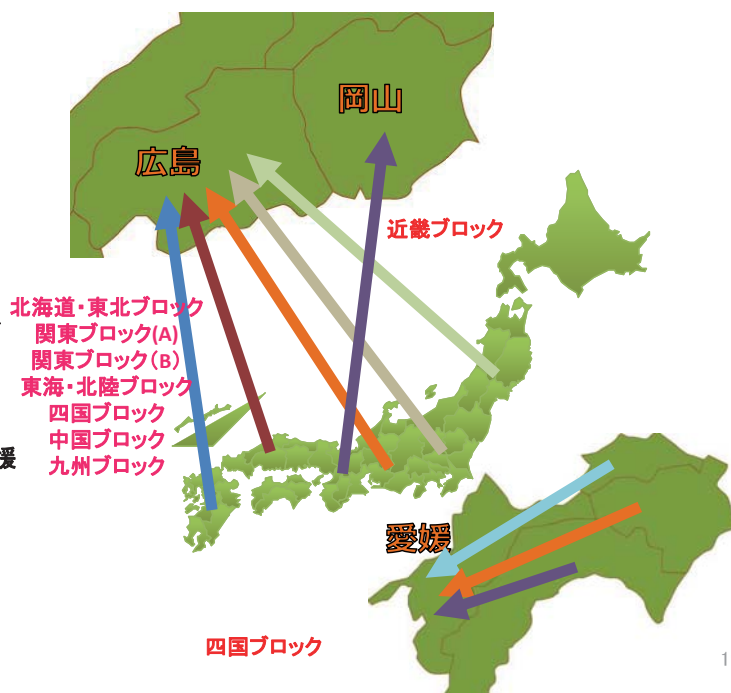
被災地に派遣する社協職員数

ブロック	支援先	人数	人数(7/27~)
北海道東北	広島県		10人
関東A	広島県		10人
関東B	広島県		10人
東海北陸	広島県		10人
近畿	岡山県	16人	31人
中国	広島県	8人	10人
四国	愛媛県	12人	12人
九州	広島県	11人	11人

※1週間単位等のクールで全国の都道府県社協、市区町村社協、全社協職員が活動。

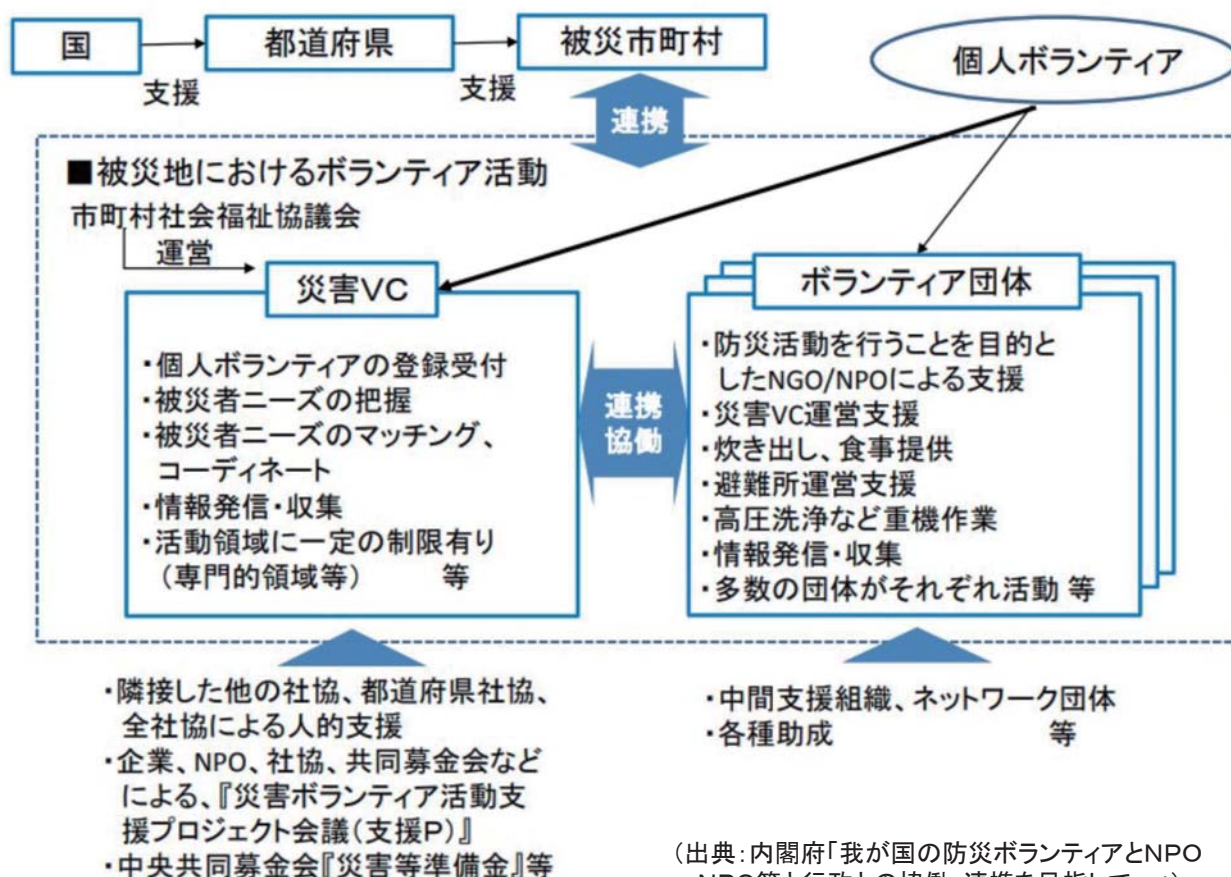
【主な活動内容】

- 主に災害ボランティアセンター立ち上げ、運営支援
- 被災地の情報把握
- 被災社協の復旧・復興支援
- 生活福祉資金貸付相談、手続き支援 等



19

災害発生時のボランティア活動の関係図

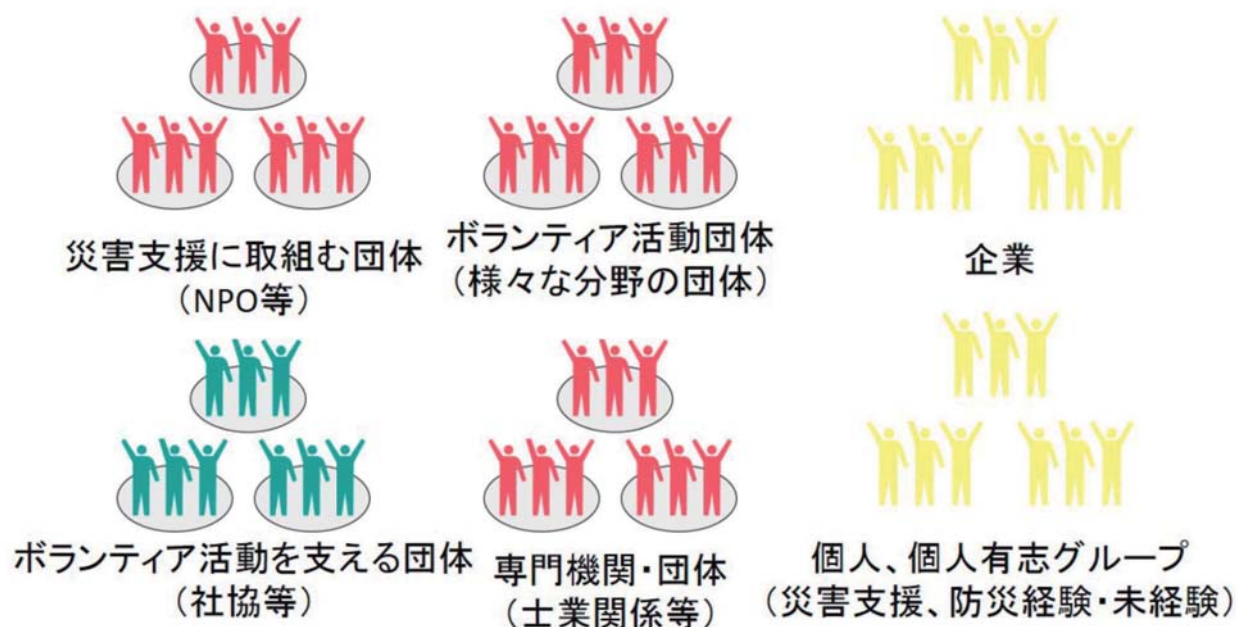


(出典:内閣府「我が国の防災ボランティアとNPO～NPO等と行政との協働・連携を目指して～」)

被災者支援に関わる多様な主体



災害時には被災地内外の行政・社会福祉協議会・NPO・ボランティア等の多様な主体が、一日も早い被災者の生活再建、被災地の復興を目指して災害対応にあたります。



(出典:内閣府「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック～三者連携を目指して～」)

災害ボランティアセンターで行われていること



○近隣住民の助け合いが災害により機能しないところを、ボランティアの力を借りて、復旧・復興に向けて、被災者が自立・生活再建することを目指す。

○ボランティア活動としては、泥かきやガレキ撤去作業のイメージが強いが、被災地では様々な活動が行われている。

○災害ボランティアセンターでは、被災者からの支援ニーズとボランティアの活動をつなぐ他にも、多くの調整が行われている。

○災害ボランティアセンター運営の3原則で運営される
「被災者中心」「地元主体」「協働」

あらゆる支援者に
当てはまるもの

ボランティア活動を正しく理解するのに欠かせないポイント

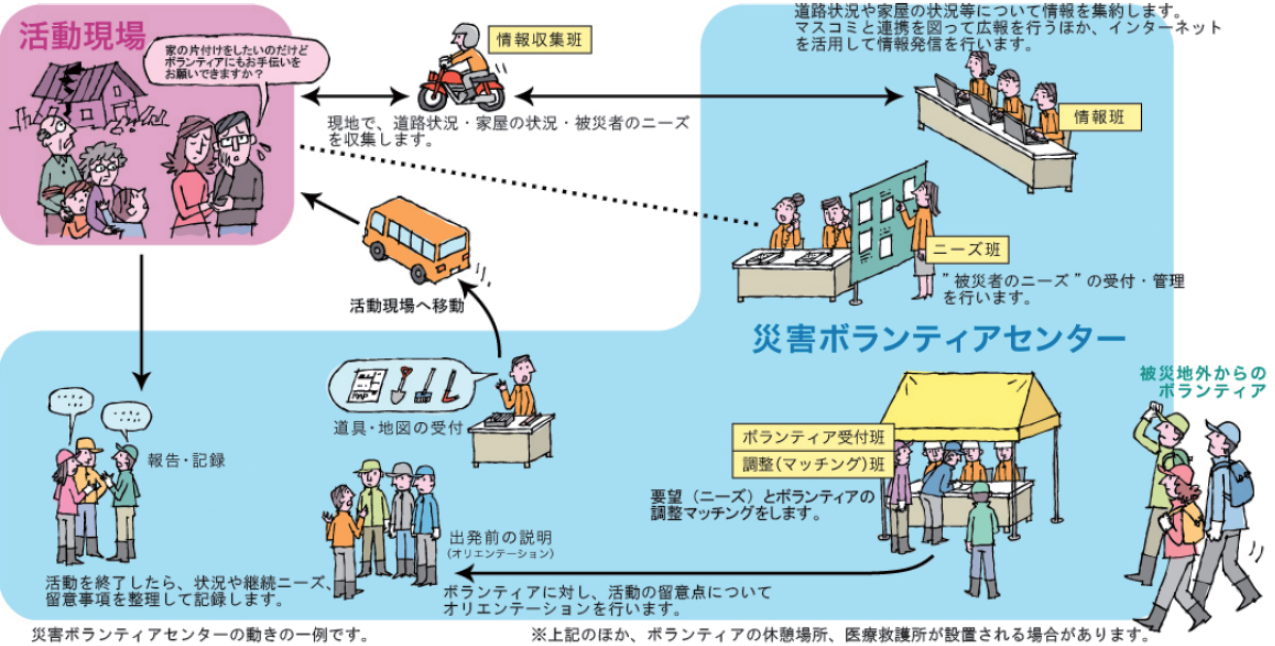
- ・「社会的包摂・社会参加促進」
- ・「自主性・自発性・主体性」
- ・「無償制・互酬性」

災害ボランティアセンターで行われていること(機能)

- 被災状況の把握と行政等、関係機関などとの連絡調整
- 被災者ニーズへの対応: ニーズの受付・相談、被災世帯調査・ローラー作戦の実施、潜在ニーズの発掘、ボランティアの活動調整、専門機関や被災者支援制度へのつなぎ
- ボランティアの募集: 地元関係者を通じた募集を始め、支援関係者を通じた広域での募集、ホームページ等による募集
- ボランティアのマネジメント: 円滑なボランティア活動への配慮(受付、オリエンテーション、活動調整、ボ安全・健康管理等)
- 様々な支援活動・支援への資源などの調整(資機材の調達・集積や調整)
- 広報: 被災者へ支援活動(センターの存在・活動を依頼できること)の告知、ボランティア募集、マスコミ対応、活動状況の記録・発信
- 運営体制の整備、スタッフ・コーディネーターの調整
- 苦情対応
- 支援プログラムの開発
- 活動保険加入のための事務
- 活動資金の調達
- 庶務や会計
- 災害VC閉所の検討と生活支援への移行 ……

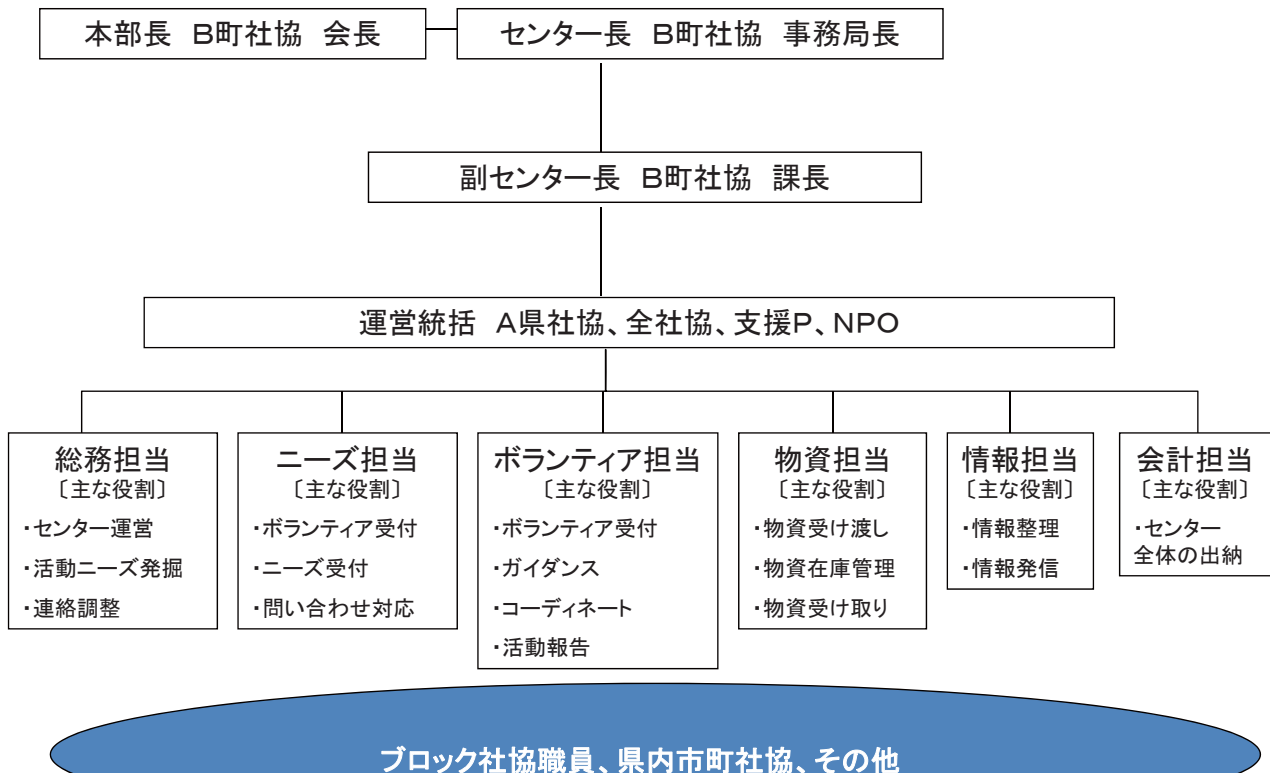
【資料】

災害 VC の仕組み

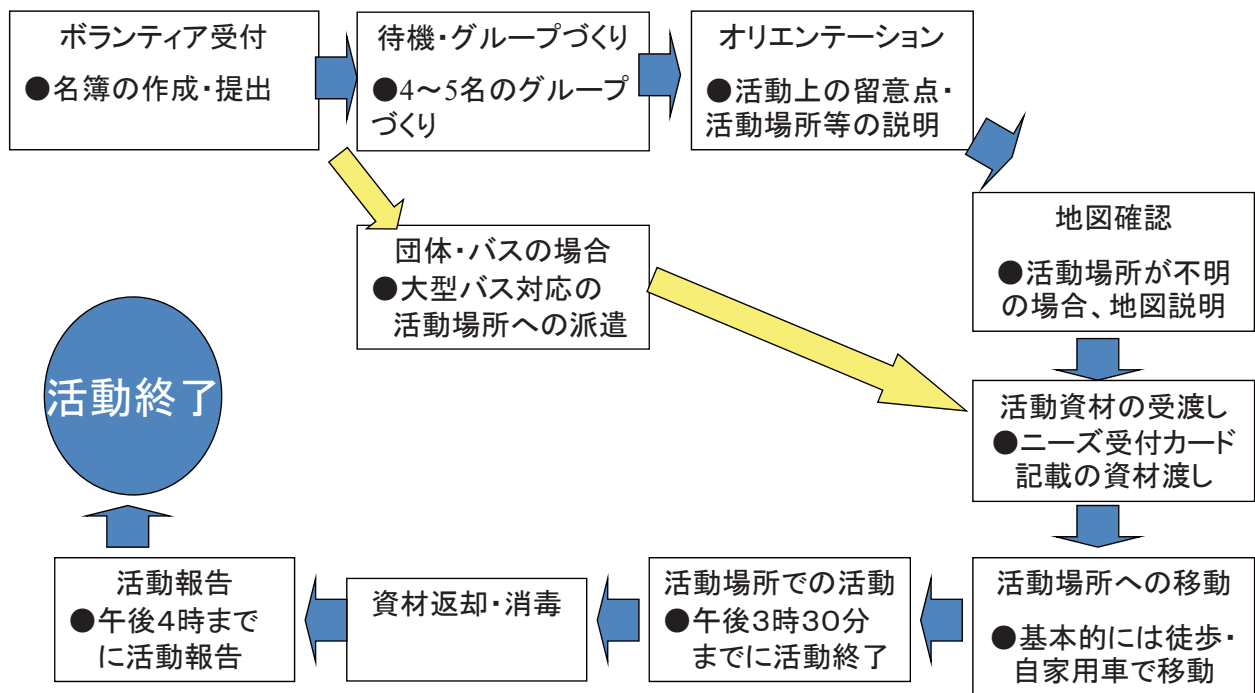


(出典：(内閣府「広報誌ぼうさい 第61号(平成23年1月)」より)

A県B町災害ボランティアセンターの運営体制



A県B町災害ボランティアセンターのしくみ



A県B町災害ボランティアセンターの1日の流れ

7時30分～	朝ミーティング
8時00分～	セクションミーティング
9時～	ボランティア受付(～12時)
15時30分	活動終了
16時～	センター帰着
17時00分～	セクションミーティング
18時～	事務局ミーティング
19時～	事務作業

豪雨災害の被災者支援 ～災害ボランティアセンターとボランティア活動～

様式: DVD/6分+6分

頒布価格: 500円(送料込)

発行年月: 2010年3月

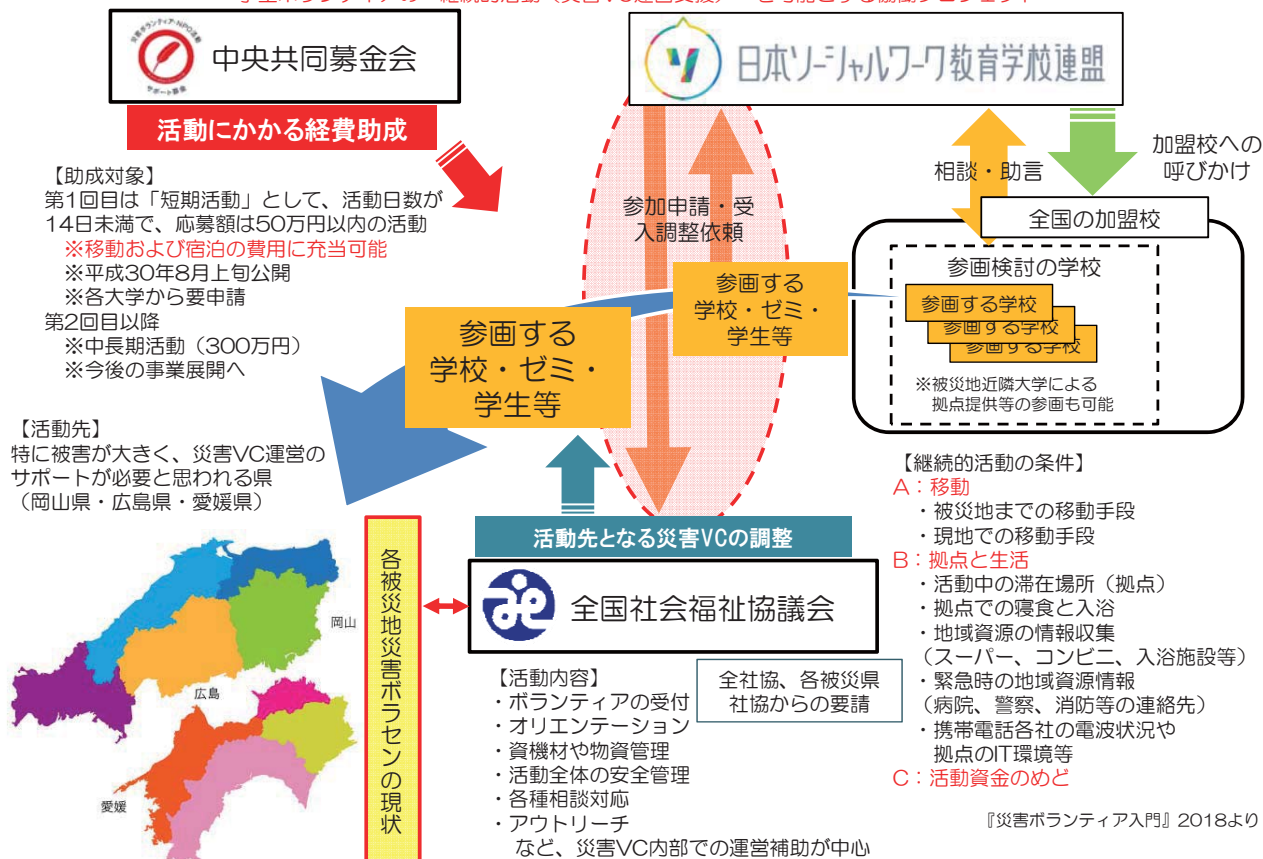
内容: 豪雨災害の際に、被災地に設置された災害ボランティアセンターが、被災者支援においてどのような役割を担い、またそこでボランティアはどのような活動を行なうのか、実際の災害時に記録した映像を基に解説したものです。



平成30年7月豪雨“災害ボランティアセンター運営支援”活動プロジェクト



学生ボランティアの“継続的活動（災害VC運営支援）”を可能とする協働プロジェクト





ふれあいネットワーク

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター